

まだまだ、熱中症にはご注意ください！

「熱中症」と聞いて、皆様は何を思い浮かべますか。ほとんどの方は夏バテやちょっとした体調不良の一種など、軽い状態を思いつくのではないのでしょうか。熱中症は、軽症から重症まで実に様々であり、意識が戻らず、ついには脳死状態となってしまうのも「熱中症」です。またこの時期、熱中症にゆる入院が後を絶ちません。テレビやインターネットなどでは、以前より随分と注意喚起がされるようになりましたが、軽視されている方が未だ少なくないように感じられます。決して甘く考えてはいけません。改めて、自宅や職場の空調設備の見直し、また十分な水分摂取をお願い致します。



いすみ医療センター 通信

ISUMI
MEDICAL
CENTER
MAGAZINE

Vol.6

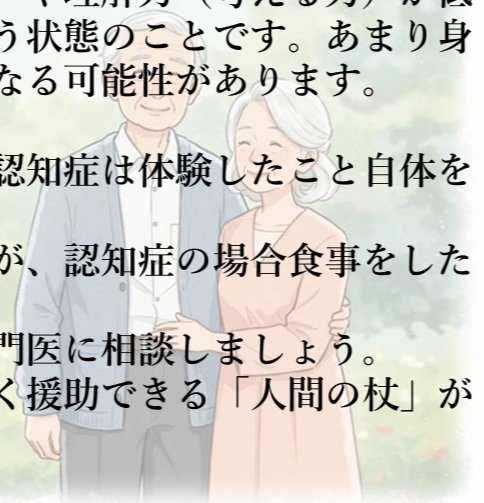
令和7年8月

腸活をして健康を維持しましょう！

最近よく耳にする「腸内フローラ（腸内細菌叢(そう)）」私たちの腸内には、多種多様な細菌が生息しています。その数はなんと、100兆個（1000種類）。これらの様々な細菌がバランスをとりながら腸内環境を良い状態にしています。その多種多様な細菌の密集している様子がお花畑（フローラ）、草むら（叢）に見えることからこのように呼ばれるようになりました。大腸癌や潰瘍性大腸炎、糖尿病、動脈硬化、認知症、アレルギー疾患、うつ病などの病気は、腸内フローラのバランスが崩れると発症リスクが上がると言われています。腸内フローラを整えるためには、腸内の善玉菌を多く含む、発酵食品、ヨーグルト、納豆、キムチ、などを摂取することです。また、野菜、果物、海藻、大豆、穀類や、大豆、玉ねぎ、バナナ、ゴボウも善玉菌を増殖させてくれるため摂ると良い食べ物です。腸内で善玉菌として働くビフィズス菌や乳酸菌だけでなく、善玉菌のエサとなり善玉菌の増殖を促進する食品も摂取することで、より効果的に腸内環境を改善できると考えられています。

認知症ってなんだろう？必要なのは支えとなる「人間の杖」！

認知症とは、様々な原因により記憶力（物を覚える力）や理解力（考える力）が低下してしまい、今まで通りに生活できなくなってしまう状態のことです。あまり身近に感じられないかもしれませんが、誰でも認知症になる可能性があります。物忘れと認知症は違います！物忘れはヒントがあれば思い出すことができますが、認知症は体験したこと自体を忘れてしまいます。たとえば、物忘れの場合は、何を食べたか忘れるですが、認知症の場合食事をしたこと自体を忘れるということになります。「何かおかしい」と感じたら、早めにかかりつけや専門医に相談しましょう。認知症の人を支えるには、認知症を理解してさりげなく援助できる「人間の杖」が必要です。



いすみ医療センター
ISUMI MEDICAL CENTER

—Topics—

- ・放射線科について
- ・医師紹介
- ・地域包括ケア病床について
- ・熱中症について
- ・腸内フローラについて
- ・認知症について

発行：広報委員会

画像をとおして、
皆様のお役に立てる様に

放射線科

いすみ医療センター 放射線科をご紹介します

・放射線科とは
放射線科は、直接見ることのできない体の中の状態を画像化し、病気の早期発見や正確な診断、治療方針の決定をサポートする現在の医療に欠かすことのできない重要な部門です。その検査を担当するのが、専門的な知識と技術を持つ私たち診療放射線技師になります。当科では現在、6名の診療放射線技師（男性技師5名、女性技師1名）が勤務しています。私たちは、医師の指示のもとで最適な画像を撮影するだけではなく、患者様一人一人の状態に合わせて、できる限り安全に検査を受けていただけるよう常に心がけて検査を行っています。

放射線科の主な業務内容

様々な症状や、疾患に対応できるよう、多様な医療機器を揃えています。

一般撮影装置

一般的に「レントゲン検査」と呼ばれる検査で、胸やお腹、骨の状態などを調べる基本的な検査です。

X線透視装置

胃のバリウム検査などで使用し、体の動きをリアルタイムで観察しながら検査を行います。

マンモグラフィ装置

乳房専用のレントゲン検査です。専門の認定資格を持った女性技師が検査を担当します。

骨密度測定装置

骨の強さや丈夫さを測定する検査です。骨粗しょう症の診断に役立ちます。

80列マルチスライスCT装置

X線を使用し、体の輪切り画像を撮影する検査です。レントゲン検査よりさらに詳しく体の状態を調べることができます。

1.5TMRI装置

強力な磁石と電波を使用し、撮影する検査です。放射線を使用しないため被ばくの心配はありません。検査中は、大きな音がしますが、脳や関節、お腹の中などを詳しく調べることができます。

外科用透視装置

骨折などの整形外科の手術に使用する装置です。



一般撮影装置



マンモグラフィ装置



1.5TMRI装置



80列マルチスライスCT装置



骨密度測定装置

「放射線」と聞くと、不安に感じられる方も多いと思いますが、私たち診療放射線技師は、患者様の放射線被ばくを最小限抑えるために細心の注意をはらい、検査を行っていますのでご安心ください。検査について何か分からないこと、不安に思うことがありましたら、医師はもちろんですが、ご遠慮なく私たち診療放射線技師に相談してください。安心して検査を受けていただけるようサポートいたします。

これからも地域の皆様の健康を支える一員として質の高い医療の提供に努めてまいります。

新任医師のご紹介

古閑 比斗志
コガ ヒトシ

内科

外務省でモンゴル・ホンデュラス・上海・アフガニスタン・マイアミ、厚生労働省で横浜検疫所・関西空港検疫所・東京検疫所に赴任しました。この4年間は新型コロナウイルス感染症と戦いました。どうぞ宜しくお願いいたします

小谷 友子
コタニ トモコ

内科

内科の小谷と申します。昨年4月から2年間の予定でお世話になっております。まだまだ勉強中ですが、残りの期間も精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

土岐 恭範
トキ ヤスノリ

整形外科

いすみ市出身の整形外科です。専門は脊椎疾患ですが、地域医療として整形外科疾患全般に対応しております。保存療法から手術まで幅広く対応していくよう、患者様一人ひとりにとって適切な医療を心がけております。現在は保存療法を中心に診察を行っておりますが、手術についても徐々に開始していく予定です。よろしくお願致します。

戸ヶ崎 賢太郎
トガサキ ケンタロウ

消化器外科

これまで消化器外科手術、消化管内視鏡検査、肝胆膵外科診療、地域医療（診療所勤務および訪問診療）などに携わってまいりました。微力ながら地域のみなさまのご健康に貢献できればと存じます。よろしくお願致します。

大橋 稜悟
オオハシ リョウゴ

内科

このたび、2025年4月から1年間勤務させていただくことになりました。大橋稜悟と申します。短い間ですが、地域の皆様に少しでも貢献できるように、精神誠意努めてまいります。何卒よろしくお願い申し上げます

地域連携室から ～地域包括ケア病床について～

地域包括ケア病床について

当院には地域包括ケア病床が22床あります。（個室7床 多床室15床）急性期の治療が終了し、症状が安定した患者様の在宅療養や介護施設への復帰に向け、在宅で必要な医療の継続やリハビリを行う病床です。医師から退院許可が出ていてもすぐに退院できない場合に、例えば介護保険サービスの調整等の目的で利用していただくことで、安心して退院できるように支援を致します。入院期間は、最大40日となります。病棟に専任看護師、地域連携室にソーシャルワーカーや退院支援看護師を配置して体制を整えております。ですが、在宅療養（居宅系施設を含む）希望のない方は、ご利用できません。入院費（医療保険）についてですが、通常は定められた1か月間の医療費の負担上限はわかりません。しかし、治療内容によっては自己負担が増額する場合があります。留意点もあり、一般病床で行うような専門的な治療や特殊な検査・手術はできません。また状態により治療が必要な場合は、一般床に転床を検討します。



入院
治療期間
2週間程度



症状安定・軽快
退院許可



地域包括ケア病床
在宅療養の準備
リハビリ継続



自宅退院
在宅系施設利用

